

Game Report

開催場所：日本経済大学

試合区分：第 26 回全九州大学バスケットボールリーグ戦

試合期日：2019 年 9 月 15 日(日)

試合時間：12：20～

CC：福岡 敏徳

U1：甲木 善徳

U2：井元 誠

日本経済大学	○ 99	22	—1st—	25	● 54	東海大学九州
		10	—2nd—	24		
		29	—3rd—	10		
		21	—4th—	12		

第1クォーター

日経大#13喜多のフリースローから試合がスタート。序盤、東海大はドライブから外に合わせて、#28脇山と#0岩崎の3Pシュートで得点を重ねる。対する日経大は、前からの激しいディフェンスでプレッシャーをかけ、#12桑原のドライブ、#13喜多の3Pシュートでリズムを作っていく。残り時間が少ない中、東海大#77田中の3Pシュートが決まり、22-25の東海大リードで第1クォーターを終える。

第2クォーター

序盤、日経大は#34ニアンのインサイドプレーを中心に得点を重ねる。対する東海大は#28脇山の3Pシュートや、#3寺井のオフェンスリバウンドで攻撃をつないでいくが、日経大は激しいディフェンスで得点を許さず点差が徐々に開き、東海大は欠かさずタイムアウトを請求。タイムアウト後、日経大#13喜多の3Pシュートなどで点数を突き放し、32-49の日経大リードで前半を終える。

第3クォーター

序盤、日経大はオールコートゾーンプレスを仕掛け、東海大のミスを誘い、ファストブレイクに繋げ、#34ニアンのバスケットカウント、#13喜多の3Pシュートが連続で決まり、東海大は欠かさずタイムアウトを請求。その後も点差を縮めたい東海大は#0岩崎の連続得点で波に乗ろうとするが、日経大#36杉がすかさずシュートを決め、点差が広がって78-42の日経大リードで第3クォーターを終える。

第4クォーター

点差を縮めたい東海大は#3寺井の積極的なオフェンスリバウンドや、#28脇山の3Pシュートで反撃をするが、日経大は前からの激しいディフェンスを緩めずミスを誘い、東海大に攻撃を許さない。その後も東海大#6塩田が果敢に攻めるも、最後まで手を緩めずにディフェンスを続けた日経大が、99-54で日経大の勝利で試合を終える。